



近森会グループ

# びるっば 10

Vol.267

発行 ● 2008年9月25日

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

## 近森オルソリハビリテーション病院の開設1周年にあたって

### 継続は力

近森オルソリハビリテーション病院 院長 北村 龍彦



近森オルソリハビリテーション病院は回復期の運動器リハビリテーション専門病院として開院し、10月15日で記念すべき1周年を迎えます。

「オルソ:ortho-」の語源は、「正しくする・矯正する」などという接頭語であり「リハビリテーション:rehabilitation」は、「本来あるべき状態への回復」、「生活機能の改善・向上」です。

思えば昨年のゴールデンウィーク明けから、短期間のうちにハードとソフトを整備し、「あなたのために・みんなのため

めに」の思いと最新の知識と技術、情熱を持って、患者さんや家族の方々と職員全員を含めた満

足が得られるように歩んできました。

衣笠整形統括部長はじめ近森病院整形外科の皆さんの全面的な協力と力強いバックアップをいただき、1周年を迎えられることを嬉しく思っています。

継続は力です。今後とも真・善・美の医療を志した初心を忘れず、皆が楽しく人生を過ごしていけるようにオルソリハの年輪を重ねていきましょう。

## 病院力の向上に向け

近森病院整形外科 統括部長 衣笠 清人



昨年の10月に整形外科の術後急性期～亜急性期の効率的なリハビリテーシ

ョンを行うことを主たる目的として当院が開院してもう1年が経過してしまいました。

医師から看護師、理学療法士などすべての部署で人手不足のなかで、あらゆることに試行錯誤を繰り返しながらあっという間の1年でした。

何とか軌道に乗りつつはありますが、まだまだやらなければならない手つかずの問題が山積しております。

新たな1年も常に前向きな気持ちを持って整形外科の総力をあげて病院力の向上に取り組んでまいりますので、この新しいスタイルの病院が発展しますよう関係各所の皆様のご援助を引き続きよろしく願い申し上げます。

### 妻の還暦



近森 正幸

子どもや孫と一緒に妻の還暦のお祝いをした。妻はバレンチノレッドのドレス、家族の誰もが赤を少し身に付けて、集まりやすい東京のホテルのレストランで一晩の食事を楽しんだ。半年前に預けてあった1948年の赤はラフィット・ロートシルト。決していい年ではないが、さすがにまだ力強さが残っていた。白は同じ年のロワール川中流の辛口ヴェレで、歳月がやわらかい甘みを醸していて、フォアグラによく合った。

料理も美味しかったが、なによりも「崖の上のポニョ」の替え歌「け

い子ちゃん」を小学二年生の女の子が作って歌ってくれた。それが何よりの贈り物になった。

子育ての折々に妻が子どもに言い聞かせてきた言葉を、Tシャツの背にプリントして子どもたちがみんなに作ってくれた。これまでの母親の愛情のこもった言葉があったから、家族がバラバラにならずに今の家族の絆ができた。感謝しきれない気持ちを表してくれたのだと思う。

翌日はディズニーランドとっていたが、子どもたちのサプライズで、和倉温泉の加賀屋に向かうことになった。妻は十数年前に娘と二人で加賀屋に泊まったことがあって、いつも「よかった、よかった」と自慢していたのを子どもたちが覚えてくれたのだろう。

家族の心づくしで思いもかけない時間を過ごすことができた。妻のたいへんな時期は過ぎ、成長した子どもや孫から祝福を受けるようになった。宿の古い師は妻の手をみて「何の悩みもないですね」と笑った。

理事長・ちかもり まさゆき



スタートに当たり北村龍彦院長から講話

開院以来、4階の一般及び亜急性期病棟に入院された患者さんは237名、退院された患者さんは200名であり、オープン以来激走しながら失速することなく、試行錯誤を繰り返し16名のスタッフで頑張ってきました。「あなたのために」をモットーにこれからもスタッフ一丸となり、患者さん中心の看護を提供していきたいと思っています。(4階病棟 師長 松岡正美)

「もう1年?」というのが率直な感想です。開院以来ずっとバタバタしてきましたが、こうしていま振り返ってみると、未熟ながらもオルソは87名の職員と共に確実に成長してきました。満足できる域にはまだまだですが、更なる進化にご期待下さい。(事務長 小松左和)

開院当時は少なかった在庫薬剤も、現在では充実し、薬局らしくなりました。今後も他の医療スタッフと連携し、薬の管理や情報提供、服薬指導など、患者さんが安心・安全に薬を服用できるように努めていきたいと思います。(薬剤部 中野克哉)



# オルソNOW

■毎朝9時30分からは、こんな風に、事務長、総看護師長、師長、ソーシャルワーカー、管理栄養士、医師が出席し、「病床会議」を開いている。患者さんをめぐる状況について検討し、共通理解を持つよう努めている。



常に満足度を考えた食事提供、そして退院後の栄養計画を患者さんや家族の方と同じ立場で行なってきました。今後も、メタボ予防など入院中から退院後の食生活相談を、入院をきっかけとして再認識していただけるよう努めていきます。(臨床栄養部 今村早織)

一年前、スタッフ17名で始まったリハビリテーション部ですが、今年春からは新たに7名の新人スタッフを配し、質・量ともに充実を図ってきました。今後も患者さんのより良い社会復帰に向け、さらなる体制の強化、質の向上を職員一丸となって行っていきます。(理学療法科科长 國澤 雅裕)

開院してはや1年、回復期病棟のスタッフは、忙しいながらも毎日楽しく仕事に従事しています。患者さんは10代から100歳を超えた方まで、6日/Wのリハビリを頑張っています。私たちは毎日のリハビリがスムーズに行なえるように、24時間、心も身体もサポートしています。(5階6階病棟 師長 中谷明未)

開院以来、11カ月の間に519名の患者さんが入院され、431名が退院されました。患者さんを中心に各職種がひとつとなってチーム医療を展開しています。いま、オルソ(整形外科専門)のリハビリテーション病院の地盤が着実に出来つつあります。高知から全国に発信していけるように頑張ります。(副院長兼 総看護師長 尾崎 貴美)

今後も、相談しやすい相談室を目指し、「あなたのために」を忘れず、患者様・ご家族にとって、退院後、安心して生活を送ることが出来るよう、お手伝いをさせていただきます。これからもよろしくお願いいたします。(ソーシャルワーカー 川上めぐみ)

## ▼毎日のアフターカンファレンスの風景



週2回の総回診の際には「総合カンファレンス」も開かれる▼



◀入院時は、各職種が関わって合同評価を行なう  
▼3階のリハビリテーション室



◀栄養指導は、好ましい食習慣の定着を目指し、管理栄養士が病室で行なう

# 県内唯一

## 大動脈瘤の治療に朗報

胸部や腹部の動脈に「瘤」ができた場合。開胸・開腹手術により瘤のできた血管を、人工血管で置き換えるという治療法が従来行なわれてきた。

その後、開胸手術をせず、したがって人工心肺装置も使わずに、身体侵襲の少ない大動脈瘤治療が、入江博之部長らによって県内で初めて行なわれたのは、平成14年の秋だった。



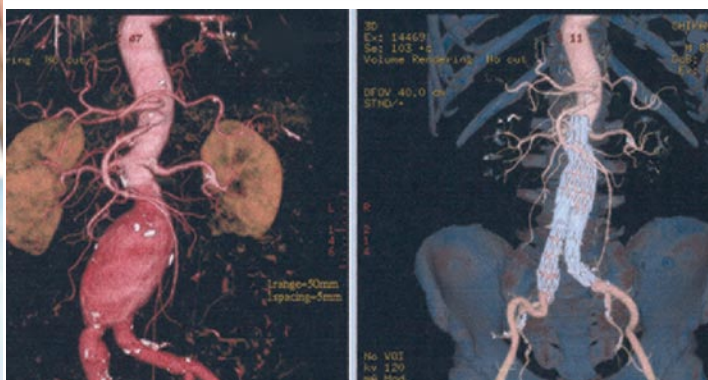
治療中に入江部長

それは、「ステントグラフト」と呼ばれる、人工血管(グラフト)に針金状の金属を編んだ金網(ステント)を縫い合わせたものを、プラスチック製のチューブである「カテーテル」の中に納めて、太ももの付け根から血管に通し、患部で広げて血管を補強し、瘤の部分に血液が流れないようにする治療法である。

それから6年経過したこの夏、従来は医師が手作りしていた「ステントグラフト」を企業が製造販売するようになり、それが使える施設として、近森病院(心臓血管外科チーム)が高知県では現在のところ唯一認可され、その第一例とな

る腹部大動脈瘤の治療が、8月7日に実施された。

これは日本心臓血管外科学会をはじめとした関連11学会で構成されるステントグラフト実施基準管理委員会から腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設であると近森病院心臓血管外科チームが認可されたもので、入江部長はその実施医としての認定も受けている。入江部長曰く、「長期予後の結果が出ていない現段階では、動脈瘤の治療の第一選択はあくまでも開腹手術と考えて欲しい。より適した治療



▲米国クック社製のゼニス AAA エンドバスキュラーグラフトを用いた腹部大動脈瘤治療が、県内では初めて、8月7日に実施された。ステントグラフト使用前(左)と使用后(右)



法と判断できる場合に限りステントグラフトを実施するというスタンスです！」。

また最近、胸部大動脈用の市販ステントグラフト使用認可も受けている。

## 聴診器と私

臨床工学部 急性期CEチーム 平野 友紀

### 機器にも当てる聴診器

今まで聴診器で様々な「音」を聴いてきました。例えば透析患者さんのシャント音、人工呼吸器が装着されている患者さんの肺音、自分や同僚の呼吸音や心音、はたまた、妊娠している仲の良い看護師さんのお腹=赤ちゃんの心音や元気良く動いている音などです。

他の職種の方も聴かれたことがあると思いますが、聴診器の使用法で他の職種の方と少し違うのは臨床工学技士という職業柄、医療機器にも聴診器を当てるといことです。装置の外から聴診器を当て、どこから異音がしているのか？ また装置を開けて、どんな異常の音なのか？ 直した後、正常な動作をしている音なのか？ などを聴診器で確かめます。それらの「音」の違いを先輩方



から叩き込まれた頃はもう10年以上前で、いつの間にかその先輩という立場にいます。後輩たちにその「音」を伝えると共に、彼らが成長する「音」にも耳を傾けられる、そんな聴診器の持ち主でありたいと思います。

これからもいろんな「音」を聴き分けられる臨床工学技士を目指したいと思います。またそんな長い時間を共に歩んできてくれたmy聴診器を『これからもよろしく』の意味を込めて、この文章を打ち終わった後、分解して掃除することにします。

## ●10月の歳時記●

### コスモス

文 3階西病棟 中内 恵



「コスモスはメキシコの高原を故郷とする花なのに、今では、すっかり日本の花といったイメージがあります。日本に渡ってきたのは明治初期。西洋の花でこれだけ短期間に普及した花も珍しいのですが、その秘密は全国の小学校に配布されたからだとか。もちろん日本人好みで栽培が簡単なのも大きな理由です。」

コスモスはギリシャ語で「調和」「美麗」「宇宙」などを表す言葉。花の形が桜に似ているので「秋桜」という呼び方もします。

「コスモスはメキシコの高原を故郷とする花なのに、今では、すっかり日本の花といったイメージがあります。日本に渡ってきたのは明治初期。西洋の花でこれだけ短期間に普及した花も珍しいのですが、その秘密は全国の小学校に配布されたからだとか。もちろん日本人好みで栽培が簡単なのも大きな理由です。」

画 千光士 可苗





奥村謙 先生



心拍が病的機序で速くなる頻拍性不整脈の中で、発作性上室頻拍・心房粗動・心房頻拍・WPW 症候群・心室頻拍・頻発する心室期外収縮などは、高周波カテーテルアブレーションという根治目的の治療法のよい対象となるものです。本法によって近森病院でも非常に良好な治療成績をあげています。

奥村教授は臨床不整脈学領域の研究や診療で、現在の日本のトップリーダーの一人です。しかも先生は現在も自ら現場に立って、活発に上記のカテーテルアブレーション治療を行われています。そして治療対象とする頻拍性不整脈の範囲の拡大、治療手技の向上、あるいは心臓電気現象を画像化するマッピングシステムの活用などに積極的に取り組んでおられ、難しい症例の治療成績の向上や治療法の進歩にも大きく貢献しておられます。先生はまた経中隔的アプローチというカテーテル手技の名手でもあることから、我々のさらなるレベルアップのために当院で直接ご指導いただくことになりました。この機会にご講演もお願いしました。

不整脈は心臓の電気現象の異常として現われます。電気は目には見えないので、異常の正体をつきとめるためには心電図や特殊な心腔内の電位図の解析が必要になります。カテーテルアブレーションではさらに治療の標的部位を正確に突き止める必要があります。標的部位に高周波を通電してこれを潰すためです。このために心腔内の多くの箇所記録された複雑な電位図をみながら、各種のプログラム電気刺激を心臓に加えて電位図の変化を解析し、正確な診断と標的部位を決定していく作業を行ないます。加えて、近年は電気現象のマッピングシステムが不整脈

## 第55回 地域医療講演会 頻拍性不整脈の カテーテルアブレーション治療

弘前大学医学部循環器・呼吸器・腎臓内科 教授 奥村謙先生をお迎えして、  
2008年8月7日(木)にホテルサンルート高知で



近森病院 内科部長

深谷 眞彦 (右から3人目)  
衆の方から「難しい内容を判りやすく話してくださり、不整脈の最新の治療法について知って感動した」と聞き、この講演会の成功を確信しました。

を画像化してくれる時代にもなっています。専門家以外に不整脈の診断と治療について判りやすく話すのは難しいのですが、先生は最新の情報を交えながらも判りやすくご講演いただきました。美しいマッピングの画像を初めてみた方は驚かれたと思います。後で聴

なお、講演会翌日には近森病院で2人の患者さんにカテーテルアブレーション治療を行い、不整脈を根治させることに成功しました。高知大学、高知医療センター、そして愛媛大学からも専門医が来て見学され、実り多い2日間になったと思います。関係者の皆さん、本当に有難うございました。

## 第56回 地域医療講演会 注意すべき感染症と 最近の耐性菌の動向

～特に MRSA を中心に～をテーマに

大阪大学医学部付属病院感染制御部 副部長の浅利誠志先生をお迎えして、  
2008年8月23日(土)にコンフォートホテル高知駅前で



近森会グループ感染対策委員会 委員長 北村 龍彦 (右端)



浅利先生は、整形外科学会や眼科学会の教育講演を始め日本中で引っ張りだこの人気講師で、当日の講



当日は、高知市内で複数の会が重なってしまいましたが、外部の参加者が半数以上を占める138名の皆さんで聴講・勉強されました。

演内容もご専門である感染症や微生物に関する内容の知識の整理と新しい知見を提供していただけました。話しぶりも聴衆を飽きさせず、大阪の親父ギャグも交えながらあっという間に時間は過ぎました。浅利先生は、臨床的に困っている難治性感染症の治療相談も全国の医師から引き受けておられます。当日も聴講された医師からそのような質問もあり、丁寧に説明され、人格と志に敬服した講演会でした。

# 沖繩 三線 演奏会

2008年9月5日(金)  
13時~新館2階ホールで



## 演奏曲

安里屋  
ゆんたく  
十九の春  
島唄 花  
などなど



福岡県出身の外山剛士（とやま つよし）さんが、独学で三線を始めたのは7年前、同時に「高知県沖繩三線愛好会」も立ちあげた。

以来、沖繩の店「ゆんたく BAR ニライカナイ」経営の合い間をぬって、病院や老人ホームや学校で、あるいは各種イベントで、演奏活動を精力的に行ない、皆さんに喜ばれている。

## 新連載のお知らせ

※**ケアのワンポイントアドバイス**が始まります。例えば、①急性期の口腔ケア②呼吸器リハなど、コ・メディカルの活躍の場面を、病院スタッフはむろん、一般の皆さんにもお伝えし、より安心して医療を受けていただくお手伝いのコーナーです。なお、知りたい題材があればお近くの編集委員にお声がけください。

## 新シリーズ★近森会交友録エッセイ

# 隣県同士の交流

医療法人 弘仁会 管理部長  
共立病院事務長兼務 **手島 厚**



てしま あつし（年齢 56歳）  
昭和50年3月 高知大学文理学部  
経済学科卒業。  
昭和50年4月から専門商社勤務  
を経て、昭和59年6月から現職。

高知県は、私の住む愛媛県とは隣県であるが、高速道路が繋がる以前は、地図上では近いが、行き来するにはとても遠い場所であった。

私は学生時代を高知市で過ごしたが、当時はJRやバスを利用すると片道5時間、自家用車でも3.5時間程度掛かっていたから、簡単に行ける所ではなかった。その状態は、各県庁所在地が直接高速道路で繋がる2000年まで続いたが、現在は、わずか1.5時間程度で移動できるようになった。徳島県や香川県の交通事情も同様で、四国では高速道路で利便性が飛躍的に向上している。

交通の利便性が良くなったお陰で、今では四国四県の医療機関が積極的に交流するようになった。これは、私から近森会の川添管理部長に相談を持ちかけて始めたことであるが、開始して以来、既に丸10年が経過し、随分その輪も広がっている。

特に形式的なことは決めず、主に愛媛県と高知県で交互に、たまに徳島県や岡山県など他県でも行うが、いろいろな施設見学ができるのも参加者の楽しみになっている。この集まり良さは、お互いの気心が知れているため、安心して情報交換ができることである。これまでも、実際の成功事例を真似て他の病院が成果を上げたことも多く、今後の厳しい経営環境を考えると、さらにその存在は貴重と思われる。

提案者として大変嬉しい限りであるが、それも、交通の利便性がよくなったからできることで、高速道路が整備されたことづくづく感謝している。

新シリーズ●近森会グループが日頃お世話になっている県内外の方々から、エッセイを寄せていただくコーナーです。どんなお話が展開されますやら。読者の皆さまもぜひお楽しみください！(ひろつば編集室)

## 看護部 キラリと光る看護 その41

# 好きこそ物の上手なれ

看護部長 梶原和歌



の上手なれ』を発見し、同じ手術に何回も何回もつけ、これなら誰にも負けず、自分はこの道では力をつけているのだと自他ともに認められるような状況づくりを心がけている」ともいいます。

定期的な勉強会など積極的な教育風土が院内手術看護エキスパートナースを誕生させています。こんな現場力がAOマニュアルでさえない道具を作成し「近森にはスゴイ道具があるネ」と言われるような今日になりました。患者情報の接点に立つ看護師が情報を的確に捉え、共有し、アセスメントし、看護実践できるナースになるための電子化の舞台も補目麻酔科部長たちの努力で軌道に乗りました。

地域医療支援病院としてリスクの高い患者さんをも受け入れ、感謝されるようなレベルの高い医療・看護のできる病院としてOP室看護師29名と補助者5名の活躍に期待します。

近森病院の整形外科が権威ある骨折・治療研究機関のAO財団から日本で初めてAO fellowship trauma centerとして登録されたお祝いパーティが8月に開かれました。

また、2000年7月に開設された心臓血管外科が8年目の今年、手術件数1000例を突破したことを記念して職員の家族ともどもTOHOシネマズ高知でムービーナイトや賞券付きジャンケン大会を楽しむことができました。

このようなおめでたい栄光の礎には手術室部門の高度なチームワーク(OPルームパーソナリティ)があったこと、とりわけ看護の働きもあったことを伝えたい

と思います。

この道24年の東野栄三師長は、「医師をはじめとする他部門との協調・調整にもエネルギーを注いできたけれども、最も悩んだのが大量の退職者が出た時代で、なんとしてでもOP室看護の魅力と誇りを伝え、定着を図らなければならぬと考えました。

就職して1年経てば夜勤が始まります。そのときには開頭術・開腹術・開放骨折に9割方対応できるようになっていなければなりません。師長はその間にスタッフのすばらしい特性と『好きこそ物

# 自分の中で、 なにかが 変わる!

沖縄の浦添総合病院  
友利 由美



空港へICUスタッフが友利さんのお見送り。後列右から順に友利さん、井上典子主任、中野記世子Ns、前列右が西森公美Ns、左に工藤師長

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？去年の8月から1年間、ICUに研修させていただきました友利です。高知を離れて早2カ月が経とうとしています。

沖縄の浦添総合病院から近森病院へ exchange nurse として過ごした1年間は、すべてが貴重な体験ばかりで、毎日が新鮮で私の人生においても思い出深いものとなっています。

まず、病棟経験しかない私がICUで驚いたことは、忙しい日々の中でも重症患者のケアが行き届いており、徹底した口腔ケアや早期からの栄養管理、NST 介入もあり、患者のことを第一に考えた動きに驚かされました。

また呼吸器 Dr と CE 回診・カンファレンス、そして脳外科カンファレンス等があり、それらは理事長が話をしていた《近森会が病院らしい病院であり続けるために「地域医療連携」と「チーム医療」を確立させること》につながっているんだなあと思いました。

また、職員間にとどまらず、患者家族への挨拶が活発であったことも驚きでした。これは私でもすぐにできることなので、現在実践しています。

他には ICLS 研修が他職種も含めて積極的開催されており、その他勉強会も豊富にあり、向上意欲のあるスタッフにとっては環境が整っていると思いました。しかし、スタッフの活性化、モチベーション維持するためにはどうすればよいか、教育についての問題はどの病院でも同じ問題を抱えているのだとわかり、引き続きお互いの情報交換をしながら、刺激し合おうと期待しています。師長や主任、スタッフの皆さん大変お世話になりました！

プライベートに関しては、梶原看護部長をはじめ数名の方に高知の美味しいものを教えていただき、たくさんごちそうになりました!! その中でもやはり、カツオのたたきは今まで食して

いたものとは違い GOOD でした。突然、無性にカツオが食べたくなり、「ひろめ市場」へ観光客を装い食べに行くこともありました。1年間で土佐弁は習得できませんでしたが、機会あればウチナー(沖縄)言葉を教えますよ。

最後に、Exchange nurse に希望してみようかなと思っている人がいれば、ぜひ立候補してみてください。自分のなかで何かが変わると思います。楽しいことばかりではないけれど自分の目でみて感じ取ってみてください。

お世話になった方々へ・・・1年間ありがとうございました。

## お互い頑張りましょうね!

近森病院 ICU 病棟 看護師長 工藤 淑恵

この1年間で、私たちは友利さんから、浦添の看護の心、パワー、情熱など、すばらしいものを教えてもらいました。「浦添の看護者さんて、皆こんなすごいのか?」と、何度も聞いたものです。1年が終わった今、友利さんが近森で何かを得ることができたかどうか気がかりですが、私達はこの出会いに感謝しています。

そんな友利さんですから、スタッフの相談にのってくれたり、カンファレンスでの意見はもちろん、早々にみんなから頼りにされる存在になりました。私自身も、いろんな相談をすると、浦添の師長さんたちのさまざまなエピソードを教えてください(すごくヒントになったり、感動しました)、共に考えてくれました。「師長、もっと、看護について、近森で働くことについて、スタッフに語ってください」「師長はどう考えますか」と、まっすぐで厳しくもやさしい言葉を今も繰り返し思い出します。

最後に、この場をお借りして友利さんへ。「ICU に新しい風を吹き込んでくれてほんとうにありがとう! 遠く離れてもお互い頑張りましょうね」

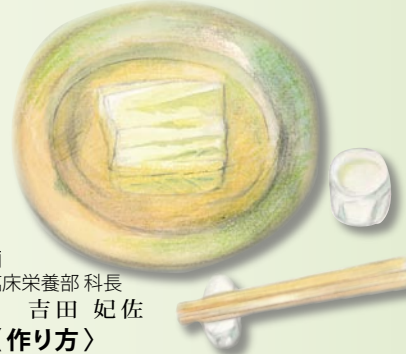
## 管理部長の カンタンこだわり料理 29

美食家、北大路魯山人は「美味しいものを食べるのではなく、美味しく食べる」と言っている。最近の日本人は美味しいものを食べるために世界中から輸入しフードマイレージ(調達量×輸送距離)を無駄遣いして地球環境を破壊し、食料自給率を下げている。身近なものを美味しく食べれば、と思う。と言いながら昨夜は居酒屋の御亭主から「土佐沖と三陸沖の鰹がありますけどどちらにしましょうか」と言われ、もちろん脂の乗った三陸沖の戻り鰹を選択してしまった。せっかく仕入れたものだし…と言い訳しながら塩タタキでワシワシ食べたものだった。旨い! 今月は魯山人の超簡単レシピをご紹介します。



川添 昇

## 白菜のスープ煮



画  
臨床栄養部 科長  
吉田 妃佐

### 〈作り方〉

- ①(魯山人には叱られそうだが、顆粒を薄味に溶いた)鶏ガラスープで6センチぐらいに切り揃えた白菜を軽く煮る。調味料は一切使わない。
- ②器に盛るときは画のように白菜を端正に揃え、スープをたっぷり張る。

### 〈食べる方〉

日本酒や焼酎に良く合う。秋の夜長の酒宴の箸休めにはピッタリである。まだシャキシャキ感の残った白菜の甘味が薄味のスープと絡み合っており「まさに滋味あふれる一品となる」と自画自賛するのは大げさか…。

「勤君更尽一杯酒」(君に勤む更に尽くせ一杯の酒)という漢詩の一節がなぜか思い出される。

近森会グループ	
2008年	外来患者数 17,515人
	新入院患者数 756人
	退院患者数 777人
近森病院	
8月の診療数	平均在院日数 14.90日
	地域医療支援病院紹介率 83.70%
	救急車搬入件数 449件
	うち入院件数 224件
	手術件数 365件
	うち手術室実施 229件
	うち全身麻酔件数 127件

中屋 吉博 さん

見返りを愛  
期待しない

普通高校を出て高知工科大学に進んだが、その大学を中退してまで、「結局は今の介護福祉士の道に方向転換した」という中屋さんの経歴を聞けば、かなりの芯の強さを想像させるし、またどんなにか優しい人だろうとも、多くの皆さん思うに違いない。リハ病院の増田千恵看護師長は、「ホントに！ものすごく優しい。えい子よ〜。みんな彼が大好きよ〜」と、もうホメちぎる勢いだ。

中学高校時代、「とにかく卓球が好きで、卓球だけやっていました！」という卓球少年は、大学生になって初めて「時間に余裕ができ、自分はなにをしたいかと『初めて』真剣に考えたんです」と、こんな風に介護福祉士への興味深い方向転換物語が始まった。

なにをやりたいか、なにが好きか、と考えたとき、自分は「子どもが好きで、じいちゃんばあちゃんと動物に弱い…（つまり好き！）ことを、改めて意識した」。すると、大学2年の夏休み、「気づいたのなら時間はムダにできない！」と、誰にも相談せず、いきなり大学を辞めてしまったのだという。「保育士は大学出てからでもいいんじゃない!？」と周りからはアドバイスもあったようだが、中屋さんによると、「そのときは他が見えなかった…」。

で、方向転換には時間もお金もかかるわけだが、ご両親からも協力を得られ、まずは第一方向転換の保育園への就職は果たせた。

楽しい、望んだ仕事を手に入れた2年間。だが、次なる難儀。「自分の保育観と就職先が合わなかった」。つまり、保育士として自分が大事に思ってきたこと、「この高さから飛んだらどれほど痛いか、危ないからやらせないのではなく、注意深く見守りながらもまず経験させてみる」。例えば、そんな保育を実践したかった。「自分のなかで大事と思うことを子どもに伝えたいし、大



お節介りかも知れないけれど、人のために何か出来ることがあれば、僕の大きな喜びです!!

事と思うことしか教えられないし…」。

そんな葛藤が芽生えて苦しんでいる時期、「友だちが、たまたま介護士で、仕事の内容を聞き」、ここで、その時にピンときて、つまりめでたく二度目の方向転換が実行されることになる。

中屋さんには「見返りを期待することなくできる仕事。それはお年寄りに対してではないか…」と、胸に響くものがあったのだろう。苦しい思いをして保育士に方向転換していたからこそ、感じられる痛みもあるに違いない。

世間体も気にはなるが、「一度きりの人生、生きたいように生きればいいじゃないか!」と、背中を押してくれる本にも当時出会ったそうだ。保育士の資格を持っていると介護福祉士の資格は最短一年で取れるということも、方向転換に踏み切りやすかった。

急ハンドルを二回きっての現在という方向転換物語ではあったが、この転換は中屋さんの発想では極めて自然だし、だいいち患者さんにとって、こんな優しい力持ちが居てくれることは大きな救いにも喜びにもなるだろう。

子どもが好きで年寄りに弱い…なんて、およそ若者らしくない、かといえば飛んでもない。保育士の勉強中に参加して以来よさこい祭りにハマり、もう5年連続出場しているし（安芸市の夏祭り仲良し三人組の真ん中）、パソコンも操る現代の若者の面もある。

小学校の同級生だった奥さんとは、20歳の時、レストランのアルバイトで再会したのがきっかけで結婚して2



心臓血管外科  
心臓手術1000例記念  
第3回ムービーナイト

TOHOシネマズ高知  
スクリーン7(イオンSC内)  
2008年8月28日(木)  
19:00 上映開始  
21:00 終了予定  
会費 ペアで1000円

★対象  
・近森病院職員または準職員  
(所属は近森会グループではないが、主に近森会で勤務されている方)  
※ペアの方は家族、友人でもかまいません。  
(他の方の連絡ごらない小学生以上のお子様で、映画と一緒に楽しめる方)  
・ペア150組(合計300名) (希望者多数の場合は抽選となります)

★応募方法  
・スターバックスの案内に返信、もしくは申し込み用紙にてご応募下さい。  
・申込用紙は管理棟一階カウンターに置いてあります。  
・準職員の方は、業務委託代表者から入手できます。

★当選者

臨床工学部 急性期CE チーム



長尾 進一郎

当日の進行役から、裏方の準備まで、「ACEチーム皆で力を合わせました!」と、筆者の長尾ACE

★『ムービーナイト!!』ご存知の方もいると思いますが、近森会で働く全ての人に日頃の感謝の気持ちを込めて「映画と一緒に楽しみましょう!」というイベントです。第3回目の今回は2000年7月心臓血管外科開設より心臓手術1000例を達成しましたので、これを記念しての開催となりました。

当日は1000例達成にご協力いただいた方々や近森会を支えて下さっている方々で300名を越えました。それぞれがポップコーンやビールを抱え、大家族で映画を楽しんでいるような雰囲気でした。



密かに本気!でジャンケン大会

上映終了後の特別企画「優勝賞金10万円ジャンケン大会」では、当日還暦を迎えられたK子さんを相手に、全員が力を入るジャンケンとなり大盛況の後、泌尿器科外来クラークの金澤さんが優勝され、会場からの温かい拍手とともに閉会。この第3回ムービーナイトは、近森会また心臓血管外科が多くの方々を支えられ、歩んできたことを実感できた特別な日となりました。

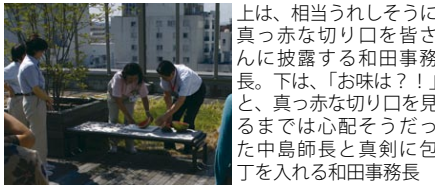
年目に入った。「人のために僕ができることがあれば嬉しい」と、素直に我が境遇を喜べる穏やかな表情。きっと、もう方向転換は必要ないのだろう。

## 第二分院屋上の芝生に育ったスイカ



『ひろっぱ』8月号で第二分院の和田事務長が紹介した屋上のスイカの記事をご記憶でしょうか。どこから飛んできたのかスイカの芽が芝生に生え、和田事務長の巧みな受粉と、いっぱい太陽。さらに、和田事務長曰く「訪れる患者さんと職員の温かい励ましを受けた」そうで、無事に丸々と成長し、このたび収穫祭を行なえるほどになり、みんなに幸せを運んでくれました。割って

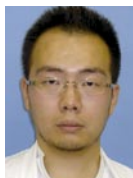
みると真っ赤に熟れて、甘い甘〜い特上の出来栄え。一同感激しきりでした。



上は、相当うれしそうに真っ赤な切り口を皆さんに披露する和田事務長。下は、「お味は?!」と、真っ赤な切り口を見つめた中島師長と真剣に包丁を入れる和田事務長

※誌面の都合で、8月の診療数は6面に掲載しております。

**ニューフェイス** ①所属②出身地③最終出身校④家族や趣味のこと、自己アピールなど



齋藤 哲史

さいとう てつし①内科 医師  
②山梨県③東京医科大学④最近 Wii にはまっています。

## 編集室通信

▼ 輸入された事故米の恐ろしさが連日報道されているなか、数年ぶりに稲刈りに帰省しました。赤とんぼや蛙が飛び交う中で黄金色に実った稲を刈りました。今まであたり前のように口に入れていた米が妙に愛しく感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。自然の恵みに感謝し、両親に「いつもおいしいお米ありがとう」とお礼を伝えました。(由似)

## 図書室便り

《2008年8月受入分》

- ・OSTEOTOMIES FOR POSTTRAUMATIC DEFORMITIES / RENE K. MARTI(他編集)
- ・最新整形外科学大系 24 小児の運動器疾患 / 藤井敏男(他専門編集)
- ・専門医のための精神科臨床リュミエール 3 操作的診断 VS 従来診断 非定型精神病とうつ病をめぐって / 林 拓二(他責任編集)
- ・グループ・コーチング入門 / 本間正人
- ・プリセプターシップを変える 新人看護師への学習サポート / 北浦暁子(他著)
- ・看護師のためのビジネススキル 組織人としての仕事のきほん / 北浦暁子(他著)
- ・アンダーコントロールトレーニング 怒りを上手に抑えるためのステップガイド / EMMA WILLIAMS(他著)、壁屋康洋(他訳)
- ・リーダーへの旅路 本当の自分、キャリア、価値観の探求 / ビル・ジョージ(他著)、梅津祐良(訳)
- ・平成 19 年版 看護白書 専門職として生活者として働く 看護職の確保定着とワーク・ライフ・バランスの実現 / 日本看護協会(編集)
- ・弁護士による医療訴訟とリスクマネジメント Q&A で学ぶ / 田邊 昇
- 《寄贈本》
- ・標準看護計画 第 1 巻 ~ 第 3 巻 / 香川医科大学医学部附属病院看護部(編集)
- ・ベティ・ニューマン看護論 / 野口多恵子(他監訳)
- ・オレム看護論 看護実践における基本理念 第 3 版 / ドロセア E. オレム(著)、小野寺杜紀(訳)
- ・ベナー看護論 達人ナースの卓越性とパワー / バトリシア・ベナー(著)、井部俊子(他訳)
- ・ライフサポート 最前線に立つ 3 人のナース / スザンヌ・ゴードン(著)、勝原裕美子(他訳)
- ・医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント / 高橋祥友
- ・カウンセラーのためのアサーション / 平木典子(他著)
- ・絵でみる寝たきり防止 ケアとトレーニングの実際 / 井口恭一
- ・絵で見てやれる家庭介護のすべて一寝たきりにさせないために / 西原修造
- ・TAI 高齢者ケアプランビジュアル作成 / 高橋 泰(他著)
- ・特別養護老人ホームにおける自立に向けた介護展開手順の手引き / 社会福祉法人全国社会福祉協議会(編集)
- ・臨床看護テクニク / NORMAN DISON(著)、池田典次(他訳)
- ・看護にいかすリーダーシップ 状況対応とコーチングの体験学習 / 諏訪茂樹
- ・現象の理解と介入方法 ナースによる心のケアハンドブック / 野嶋佐由美(他監修)
- ・看護研究コンパクトガイド / 上野栄一
- 《別冊・増刊号》
- ・別冊・医学のあゆみ 老化と疾患・病態の理解と診断・治療の進歩 / 大内尉義(編集)
- ・こころの科学 HUMAN MIND SPECIAL ISSUE2008 実践心理アセスメント / 下山晴彦(他編集)
- ・こころの科学 HUMAN MIND SPECIAL ISSUE2008 本人・家族のための SST 実践ガイド / 前田ケイ(他編集)
- 《ビデオ・DVD》
- ・人工呼吸器のモニタリングポイントとアラーム対応 急性期からはじめる口腔ケアの実践テクニク(呼吸器 & 循環器ケア 8 巻 3 号 付録 DVD) / 齋藤智彦(他監修)